

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)

【公開番号】特開 2018-198893 (P2018-198893A)
 【公開日】平成 30 年 12 月 20 日 (2018.12.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-049
 【出願番号】特願 2017-106098 (P2017-106098)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 識別情報の可変表示および第 2 識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

第 1 識別情報の可変表示と第 2 識別情報の可変表示とを並行して実行可能な可変表示実行手段と、

可変表示の表示結果が特定表示結果となったことにもとづいて、前記有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、

可変表示の表示結果が所定表示結果となったことにもとづいて、前記有利状態とは異なる所定状態に制御可能な所定状態制御手段と、

前記有利状態および前記所定状態とは異なる状態であって遊技者にとって有利な特別状態に制御可能な特別状態制御手段と、

前記所定状態において遊技媒体が進入可能な所定領域と、を備え、

前記可変表示実行手段は、第 1 識別情報および第 2 識別情報のうちのいずれか一方の識別情報の可変表示の実行中に他方の識別情報の可変表示の表示結果として前記特定表示結果が表示された場合に、該一方の識別情報の可変表示の表示結果として前記特定表示結果以外の表示結果を表示し、

前記有利状態は、複数種類あり、

前記特別状態制御手段は、

前記特別状態として、第 1 特別状態と、該第 1 特別状態と比較して前記所定状態の制御によって遊技価値を付与しやすい第 2 特別状態と、に制御可能であり、

前記有利状態の種類に対応して前記第 2 特別状態に制御可能であり、

前記第 2 特別状態において前記所定状態に制御される場合に前記所定領域に遊技媒体が進入したことにもとづいて進入演出を実行可能な演出実行手段を備え、

前記第 1 特別状態において前記所定状態に制御される場合に前記所定領域に遊技媒体が進入したことにもとづいて前記進入演出は実行されず、

前記演出実行手段は、前記進入演出として、前記第 2 特別状態中に前記所定領域に遊技媒体が進入したことにもとづいて付与された遊技価値に対応する対応表示を表示するとともに、前記第 2 特別状態中に前記所定領域に遊技媒体が進入したことに対応した演出を実

行する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

（手段Ａ）本発明による遊技機は、第１識別情報の可変表示および第２識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、第１識別情報の可変表示と第２識別情報の可変表示とを並行して実行可能な可変表示実行手段と、可変表示の表示結果が特定表示結果となったことにもとづいて、前記有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、可変表示の表示結果が所定表示結果となったことにもとづいて、前記有利状態とは異なる所定状態に制御可能な所定状態制御手段と、前記有利状態および前記所定状態とは異なる状態であって遊技者にとって有利な特別状態に制御可能な特別状態制御手段と、前記所定状態において遊技媒体が進入可能な所定領域と、を備え、前記可変表示実行手段は、第１識別情報および第２識別情報のうちのいずれか一方の識別情報の可変表示の実行中に他方の識別情報の可変表示の表示結果として前記特定表示結果が表示された場合に、該一方の識別情報の可変表示の表示結果として前記特定表示結果以外の表示結果を表示し、前記有利状態は、複数種類あり、前記特別状態制御手段は、前記特別状態として、第１特別状態と、該第１特別状態と比較して前記所定状態の制御によって遊技価値を付与しやすい第２特別状態と、に制御可能であり、前記有利状態の種類に対応して前記第２特別状態に制御可能であり、前記第２特別状態において前記所定状態に制御される場合に前記所定領域に遊技媒体が進入したことにもとづいて進入演出を実行可能な演出実行手段を備え、前記第１特別状態において前記所定状態に制御される場合に前記所定領域に遊技媒体が進入したことにもとづいて前記進入演出は実行されず、前記演出実行手段は、前記進入演出として、前記第２特別状態中に前記所定領域に遊技媒体が進入したことにもとづいて付与された遊技価値に対応する対応表示を表示するとともに、前記第２特別状態中に前記所定領域に遊技媒体が進入したことに対応した演出を実行することを特徴とする。

（手段１）他の遊技機は、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機であって、可変表示の表示結果が所定表示結果（例えば、小当り図柄）となったことにもとづいて、有利状態とは異なる所定状態（例えば、小当り遊技状態）に制御可能な所定状態制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０におけるステップＳ３５８～Ｓ３６０を実行する部分）と、所定状態に制御される頻度を高めた特別状態（例えば、ＫＴ状態）に制御可能な特別状態制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０におけるステップＳ２２０８Ａ，Ｓ２２１１Ａ，Ｓ２２１２Ａ，Ｓ２２０９Ｂ，Ｓ２２１０Ｂ，Ｓ２２１３Ｂ，Ｓ２２１４Ｂを実行する部分）と、特別状態において遊技媒体（例えば、遊技球）が進入可能な特定領域（例えば、特殊入賞口２４）とを備え、特別状態制御手段は、特別状態として、第１特別状態（例えば、高確率／第１ＫＴ状態）と、該第１特別状態と比較して有利度が高い第２特別状態（例えば、高確率／第２ＫＴ状態）とに制御可能であり、第２特別状態において特定領域に遊技媒体が進入したことにもとづいて進入演出（例えば、賞球加算表示の表示、入賞音の出力、特殊入賞口ランプ２４ａの点灯表示）を実行可能な進入演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ２００におけるステップＳ６５７～Ｓ６５９を実行する部分）を備え、進入演出実行手段は、第１特別状態において特定領域に遊技媒体が進入した場合には進入演出を実行しないように制御する（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ２００は、ステップＳ６５６でＮのときステップＳ６５７～Ｓ６５９を実行しない）ことを特徴とする。そのような構成によれば、第１特別状態におけるイレギュラーな遊技媒体の進入によっては進入演出が実行されないようにすることにより、遊技状態との演出上の整合を図ることができるとともに、第２特別状態における特定領域への遊技媒体の進入

を強調することができ、遊技に対する興趣を向上させることができる。従って、特別状態に制御する場合の演出上の改善を行うことができる。